

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成29年1月分)

平成29年3月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢
 - (1) 国家レベル
 - (2) エンティティ、特別区
 - ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)
 - イ スルプスカ共和国(RS)
 - ウ ブルチュコ特別区
2. 外政
 - (1) 多国間、国際・地域機構 (EU加盟プロセスを含む)
 - (2) 二国間関係
3. 経済
 - (1) 経済指標
 - (2) 経済政策、公共事業
 - (3) 経済協力

(注: 以下は、現地紙など公開情報をとりまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

● BH中央選挙管理委員会(CEC)、ストラツ市の選挙の無効を最終決定(12日)

CECは、昨年10月の統一地方選挙におけるストラツ市の選挙を無効にする旨最終決定。同決定により、選挙法に基づき決定から40日以内に再選挙が行われることとなった。なお、CECは、昨年12月29日に、10月の投票時に暴力事件を起こし、選挙の中止を招いたカプラン(ボシュニャク系)候補等4名の再選挙における立候補禁止を決定している。

● BH憲法裁判所、2013年国勢調査の合憲性見直しに関する訴えを棄却(19日)

BH憲法裁判所は、ボシッチSDS前党首が提訴していた2013年国勢調査の方法に関する合憲性見直し請求を棄却。これにより、2013年に実施され、2016年6月に結果が発表された国勢調査の結果が最終的に確定した。

● BH憲法裁判所、BH連邦議会におけるセルビア系議員定員不足問題に関する訴えを棄却(19日)

BH憲法裁判所は、BH連邦議会上院においてセルビア系議員が13名しかおらず、定員17名を満たしていない問題に対して、「2014年の国政選挙以降に同議会で採択された法律すべてを無効とすべき」というSNSD所属RS国民議会議員団の提訴を棄却した。

●SDA幹部会、フェイスリッチ・スレブレニツァ市議会議長を、SDAスレブレニツァ支部長から解任(20日)

スレブレニツァ市では、昨年10月の地方選挙においてセルビア系のグレイチッチ市長が就任したことに伴い、SDAスレブレニツァ支部長のフェイスリッチ(ボシュニャク系)が市議会議長に就任。しかし、同市のSDA支部において内紛が発生し、SDA幹部会はフェイスリッチを同党スレブレニツァ支部長から解任した。

●モスタルにおいて第7回クロアチア民族評議会(HNS)を開催(28日)

チョービッチBH大統領評議会メンバー(HDZ BiH党首)及びリュービッチHNS議長は、第7回クロアチア民族評議会において、それぞれ議会における2年間の活動報告書を提出。また、チョービッチは、「2017年中に選挙法の改正を達成する。」と述べ、2018年の総選挙を前に、クロアチア系住民が選んだクロアチア系のみを大統領評議会メンバー及び各議員のクロアチア系枠に選出できるように仕組みを変更することに強い意欲を示した。また、同評議会で「第3エンティティ」の創設を共通の目的とすることが再確認され、これに対して、SDAは報道発表を行い、「BHの更なる民族対立と領土分割を招くもの」として、強く批判した。

(2)エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●ノバリッチBH連邦首相が10カントンの首相及び財務大臣と会合(23日)

BH連邦のノバリッチ首相(SDA)、ミリチェビッチ副首相(HDZ BiH)及びドルリャチャ副首相(SBB)は、10カントンの首相及び財務大

臣らとの間で、2015-18年BH改革アジェンダの実施及びEU加盟に向けた調整メカニズムに関わる財政方針に関する会合を行った。

イ スルプスカ共和国(RS)

●「RSの日」祝賀行事の開催(9日)

RSの中心都市バニャ・ルカにおいて、「RSの日」祝賀行事が開催され、RS警察、退役軍人会等によるパレード、イバニッチ大統領評議会議長(セルビア系)によるBH軍RS第三步兵部隊の閲兵式、イリネイ・セルビア正教会総主教によるミサ、及び記念シンポジウムが行われた。同シンポジウムにはドディックRS大統領、RS政府閣僚及びRS国民議会議員に加え、セルビアからニコリッチ大統領が出席した。

なお、「RSの日」については、昨年11月にBH憲法裁判所から違憲の判決が下されている。

●米国、ドディックRS大統領に対する制裁措置を発表(17日)

米国国務省はホームページにおいて、ドディックRS大統領に対し、米国における同人の取引禁止、資産凍結などから成る制裁措置を講じた旨を発表した。同措置の実施理由は、ドディックRS大統領が昨年9月に「RSの日」に関する住民投票を強行して、BH憲法裁判所を無視して法の支配に違反し、 Dayton合意を妨害したこと。なお、ドディックRS大統領は、トランプ大統領の就任式(20日)に参加するために査証を申請したが、外交査証も一般査証も発効されず、参加を見送っていた経緯がある。

●SDS、社会経済評議会を設置(23日)

SDSは、RSの現状分析と適格な政治リーダーシップによる解決策を協議する目的で、経済、法制、教育、保健医療、起業家、製造業、林業、エネルギー、金融、銀行等の各専門家20名からなる社会経済評議会の設置を決定。ゴベダリツァSDS党首は、同評議会の「影の内閣」化は否定している。

ウ ブルチェコ特別区

●境界画定調整官に米国出身のウィリアムソン大使を任命(13日)

国際司法裁判所(ICJ)のアブラハム所長は、2016年3月にオーウェン調整官(米国)の死去に伴い空席となっていたブルチェコ特別区境界画定調整官に、米国出身のウィリアムソン大使を任命した。

●境界線確定委員会のカランRS調整官がブルチェコ特別区を訪問(17日)

11月に就任したカランRS調整官がブルチェコ特別区を訪問し、ミリッチ市長(SNSD)及びドミッチ副市長(HDZ BiH)と会談した。ミリッチ市長は、RS調整官との協力及び対話は、将来的な境界画定に向けた良い兆候であり強く歓迎する旨、そしてBH連邦側にも同様の対応を求めると述べた。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●欧州議会外交委員会「2016年BHの進捗に関する決議」を採択(31日)

採択にあたり、欧州議会外交委員会のプレ

ダ報告者は、2016年2月のEU加盟申請書提出というEU加盟に向けた大きな第一歩を歓迎すると共に、継続的な改革の重要性を述べ、民族間の対立はEU加盟時期を遅らせる原因になると述べた。また、本決議は、クロアチアの欧州議会議員による「連邦化、地方分権化、及び全民族の平等」に関する内容を含んだ24箇所の修正が加えられている。

●EUの質問状に対する回答の国内締め切り(31日)

EU加盟に向けて欧州委員会から2016年12月に受け取った3,242項目の質問に関し、BH国内各行政体に振り分けられた作業の提出期限が31日であった。BH連邦内の回答は集約され、2月中にBH欧州統合局(DEI)が提出回答の内容確認を行う予定。

(2) 二国間関係

●ズビズディッチ閣僚評議会議長のベオグラード訪問(23日)

ズビズディッチ閣僚評議会議長率いるBH代表団がベオグラードを訪問、プチッチ・セルビア首相をはじめとするセルビア政府閣僚と会談を行い、両国を結ぶ高速道路の建設などについて話し合った。

3. 経済

(1) 経済指標

●GDP成長率

BH統計庁によると、16年第三四半期は、前年同時期と比較して、実質GDP成長率は2.4%となった。

●鉱工業生産高

BH統計局の発表によると、16年12月の鉱工業生産高は、16年11月と比較して、1.0%の減少。

●雇用／失業者数

BH統計局の発表によると、16年11月のBH全体の雇用者数は738,377人。同月の失業者数は511,009人で失業率は40.9%となった。

●平均給与

BH統計局の発表によると、16年10月のBHにおける平均給与(手取り)は847KM(約433ユーロ)となった。

●消費者物価指数

BH統計局の発表によると、16年12月の消費者物価指数は前月から増減なし。

●貿易額

BH統計局の発表によると、16年1月から2月のBHの輸出額は94億1,700万KM(約48億1,688万ユーロ)、輸入額は161億3,900万KM(約82億5,524万ユーロ)となった。

・輸入相手国上位5カ国(貿易額、16年1月から12月):①ドイツ(14億7,941万KM/約7億5,673万ユーロ)、②イタリア(11億3,110万KM/約5億7,857万ユーロ)、③クロアチア(9億8,536万KM/約5億402万ユーロ)、④セルビア(8億2,285万KM/約4億2,089万ユーロ)、⑤スロベニア(8億720万KM/約4億129万ユーロ)参考:日本(124万9,000KM/約63万8,875ユーロ)

・輸入相手国上位5カ国(貿易額、16年1月から12月):①ドイツ(19億7,991万KM/約10億1,274万ユーロ)、②イタリア(18億8,604万KM/約9億6,473万ユーロ)、③セルビア(18億1,731万KM/約9億2,957万ユーロ)、④クロアチア(16億552万KM/約8億2,124万ユーロ)、⑤中国(10億9,153万KM/約5億5,833万ユーロ) 参考:日本(9,285万9,000KM/約4,749万8,000ユーロ)

* 上記数値はいずれも原産国及び仕向国による算出。

●観光客数

BH統計局の発表によると、16年11月、BHにはのべ66,538人(うち日本からは338人)の観光客が訪れた(注:宿泊を伴った観光客の総計)。

(2)経済政策、公共事業

●2017-19年経済改革プログラムを採択(25日)

閣僚評議会は、2017-19年BH経済改革プログラムを採択した。本プログラムは、履行に強制力のある構造改革を含む包括的な計画で、経済成長、競争力強化、財政とマクロ経済の安定性を維持しつつ、財政政策の厳格化と政府機関の緊縮財政措置の実施を継続するもの。

(3)経済協力

●スレブレニツァ、ブラトウナツ、ロガティツァ市長他のJICA研修による訪日(16~23日)

1月16日~23日、JICAによる「地方開発を通じた信頼醸成プロジェクト」の一環として、スレブレニツァ、ブラトウナツ、ロガティツァ市の3

市長と職員らが、本邦研修「地方開発のための地域密着型起業家養成研修」参加のために訪日。将来的な継続プロジェクトの形成に向けてアクションプランを作成した。本プロジェクトは、農業や畜産における技術と収入の向上による地方開発支援を通じて、異民族間の信頼を醸成することを目的としている。

(了)